

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	リバーサイドパークーの谷
	所在地	あきる野市引田 7 7 6
	所管課	環境経済部観光商工課観光商工系
指定管理者	名称	あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市乙津 1 2 9 3 番地
	業務内容	①施設の利用等に関すること ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 ②環境衛生協力費等の徴収に関すること ・施設利用者が、施設内に自動車等を持ち入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 ③施設の維持管理に関すること ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 ④施設の利用促進を図るための企画実施に関すること ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページ URL		https://www.akirunokanko.com/?p=3975
指 定 期 間		平成 2 3 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
開館等日数 (日)	—	—	—	307	307
利用者 (来客者) 数 (人)	約 5,800	約 5,600	約 4,500	約 5,100	約 4,600
前年度比 (人)	△200	△200	△1,100	600	△500
前年度比 (%)	96.7	96.6	80.4	113.3	90.2
利用料金 合計 (千円)	3,090	3,422	2,744	3,282	2,941
前年度比 (千円)	△348	332	△678	538	△341
前年度比 (%)	89.9	110.7	80.2	119.6	89.6

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	使用料収入 (売上)	3,090	3,422	2,744	3,282	2,941
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	1,370	1,207	912	1,074	1,467
	計	4,459	4,630	3,656	4,356	4,407
支 出	人件費	2,247	2,511	2,639	2,701	2,599
	維持管理経費	357	400	282	630	1,020
	自主事業 関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	1,829	1,321	1,097	949	902
	計	4,433	4,232	4,017	4,279	4,521
収支 (収入－支出)		26	398	△362	77	△114

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート (実施時期や具体的な方法など)	利用者に対し、バーベキュー用具の貸出し時及び返却時に口頭にて利用状況を確認している。また、電話等の予約時には、新規利用者かリピーター利用者の確認と要望などを聞いている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況	以前より、トイレの洋式化についての要望があったため、平成 25 年度に洋式化を図った。犬の糞等の苦情もあり、看板等を設置し、飼い主に注意を促している。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など (取組の内容、効果など)	小中学校等の課外授業や地域事業に対して、積極的に受け入れを行っている。 手軽でバーベキューを楽しめるように、道具の貸出しを行い、食材についても協力店と連携しながら提供している。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容	開館日数の入客数を検討し、人件費の削減や光熱費削減に対するスタッフの意識向上を図っていく。
----------	---

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価	平成 25 年度については、夏場の台風や悪天候の影響を受け、前年比に比べ入客数が減少した。しかし、下半期については、団体客の利用も増加しているので、今後についても天災等に備えつつ、団体客の利用促進を検討していく。 また、スタッフのサービス向上を図り、利用者に満足していただけるような環境整備を実施していく。
--	--

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
利用者に対するトラブル防止や園内の清掃等利用者及び近隣住民にも配慮し、満足していただけるようサービスの向上に取り組んでいる。	
経費削減の取組	
利用者へ配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
平成 25 年度においては、夏場の台風の影響を受け、入客数が前年度比 90.2%となり、また、トイレの洋式化に伴う維持管理経費が増加し、収支のマイナスが 11万4千円となった。しかし、下半期については、高校生や大学生のサークル活動の利用が目立ち、前年度比 120.6%の入客数となったため、今後も、団体客等の利用客を増やし、当バーベキュー場の特色を生かした運営を行う必要がある。 また、バーベキュー場のホームページの充実や情報誌、新聞等を幅広く活用し、リピーター及び新規利用者の増大を図るように努める。人員配置・人材育成等については、1年間を通して考えれば適正な人員で効率よく運営していると評価できる。しかしながら、他のバーベキュー施設同様、繁忙期や天候等により施設の運営状況が変動するため、年間を通じた運営計画が必要である。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。